

麻布大学高知県同窓会in幡多

【同窓会開催の概要】

* 平成25年11月23日土曜日午後6時、四万十市の料亭「より道」にて高知県同窓会(高知県支部)の通常総会、懇親会を開催。来賓として同窓会顧問の紫野正雄先生出席。

* 会員数51人中10人、来賓1人、計11人の出席。欠席の委任状ハガキ26通。

* 議案書の説明:運営状況や会費納入状況、本部理事会及び代議員会の報告など。なお、高知県同窓会の会計年度は7月1日～6月30日。次回開催は、H26. 10に高知市を予定。

* 大学の情勢報告のなかで、紫野先生から子弟枠入試制度の設置についての説明があり、H26年度よりAO入試にて対応し、定員は5名程度とのこと。また、創立125周年記念事業については、学校法人が事業を実施し、H27年度に開催予定。そのための運営資金として、卒業生から集金(5千円/個人、50千円/法人)を募るとのこと。また、同窓会余剰金の5,000万円の用途検討中。

* 高知県の地形は、東西に長く、中央部である高知市で例年総会を開催されていたが、東西地区の方には、出席の際、不便をおかけしている為、本年度は、初めて幡多地域(高知県西部)で開催した。折しも今宵は、一条大祭と相まって、中村(四万十市)の街は、夜遅くまで賑わっていた。

それから、出席した同窓は皆、同窓会本部とともに、母校発展の一助となるべく決意を新たにした次第でした。

いつものお約束の言葉ながら、同窓の皆さん、高知に来てナイショで素通りは、坂本龍馬と高知県支部が「許さんぜよ！」

※一条大祭について <http://www.city.shimanto.lg.jp/kanko/i-menu02-1.html>

(高知県支部事務局 野村泰弘)

